

2023 年度春 Semester 授業評価結果

1. 実施率

表 1 授業評価実施率

	対象科目数	実施科目数	実施率 (22 春セメ実施率)
共通科目	29	29	100% (100%)
看護学部	31	31	100% (100%)
社会福祉学部・国際教育学部	46	46	100% (100%)
リハビリテーション学部	32	32	100% (100%)
計	138	138	100% (100%)

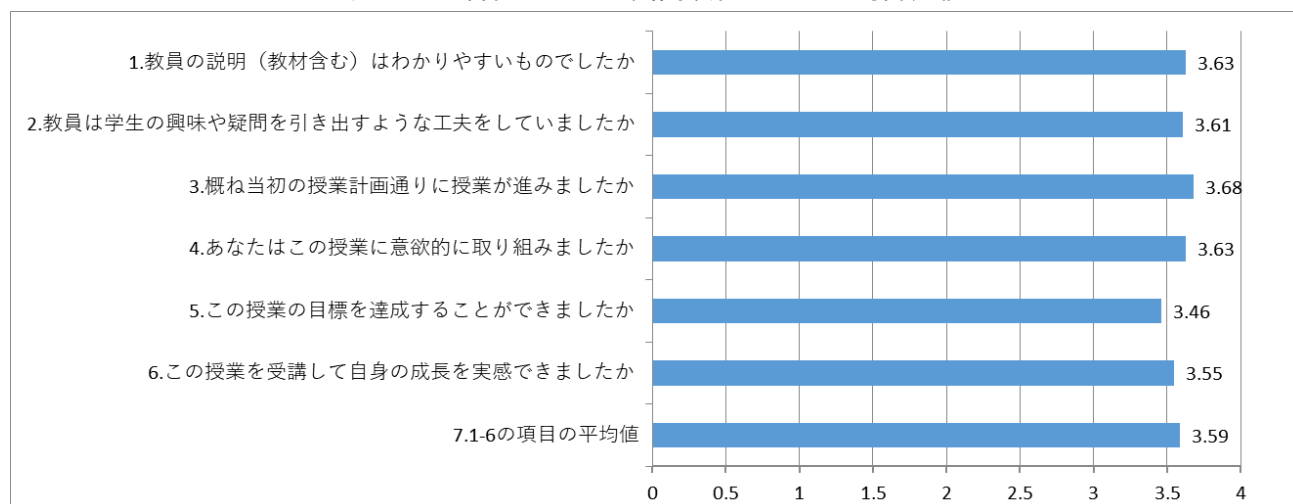
実施結果について

授業評価の実施率はこれまでと変わらず 100%を維持していますが、かねてからの課題であった学生・教員の負担と、科目間の回答率のばらつきを改善するために、授業評価の運用方法の抜本的検討を重ねました。また、アクティブラーニングや双方向授業にふさわしい設問の検討をおこない、学生 FD スタッフにも意見を伺いながら、2023 年 5 月より新方式にて授業評価を実施しました。

2. 授業評価結果

評価票の評価について「そう思う」(4 点)～「そう思わない」(1 点)と得点を与え、質問項目ごとに平均評定値を算出した(図 1～図 5)

図 1 全科目における質問項目ごとの平均評定値



全学 FD 委員長からのコメント

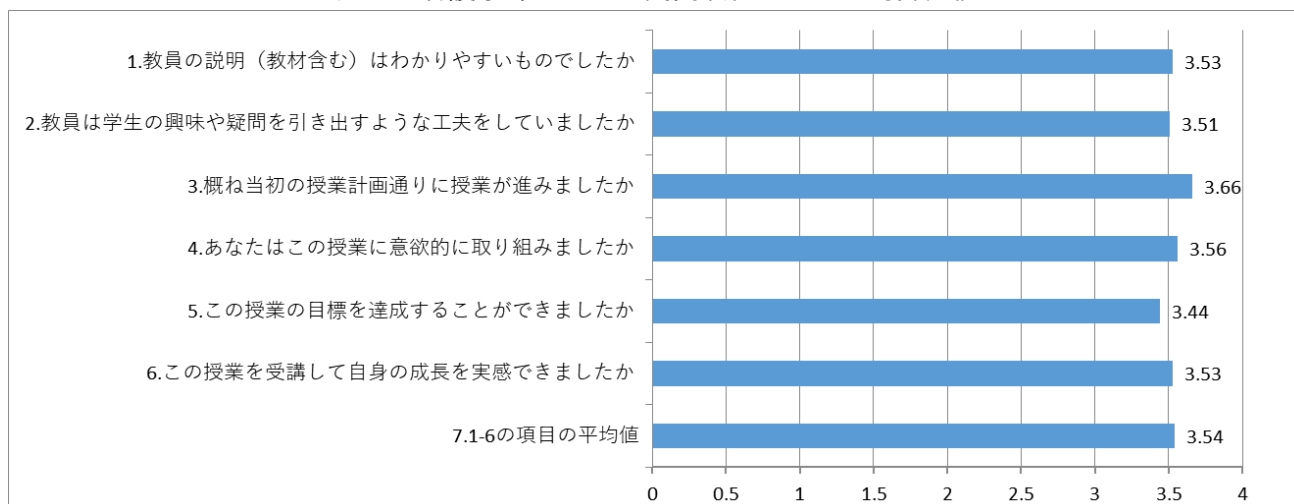
問	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
1	3.65	3.61	3.62	3.63
2	3.76	3.71	3.72	3.61
3	3.46	3.54	3.54	3.68
4	3.39	3.42	3.43	3.46
5	3.59	3.62	3.63	3.55
6	-	-	-	3.55
平均	3.57	3.58	3.59	3.59

*学生 FD スタッフにも意見を伺いながら、アクティブラーニングや双方向授業に相応しい設問の検討をおこない、2023 年度春 Semester より下記のように設問を新しくして授業評価を行いました。これまで通り、評価と検証を重ねてゆきます。

*評価する授業の科目数も、これまで 1 年で全科目を行っていたものを 2 年間で行うため、各 Semester で実施する授業評価の科目数は減ります。

- 1 教員の指示は、よく聞き取れ、わかりやすいものでしたか
 ◻ 教員の説明(教材含む)はわかりやすいものでしたか。
- 2 教員は、熱意を持って意欲的に授業や実習など学生指導をしていましたか
 ◻ 教員は学生の興味や疑問を引き出すような工夫をしていましたか。
- 3 あなたは、この授業に触発されて、さらに学習意欲が高まりましたか
 ◻ 概ね当初の授業計画通りに授業が進みましたか。
- 4 あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか
 ◻ あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 5 あなたは、総合的に見て、この授業を受講したことに満足していますか
 ◻ この授業の目的を達成することができましたか。
- 6 この授業を受講して自身の成長を実感できましたか (新設項目)

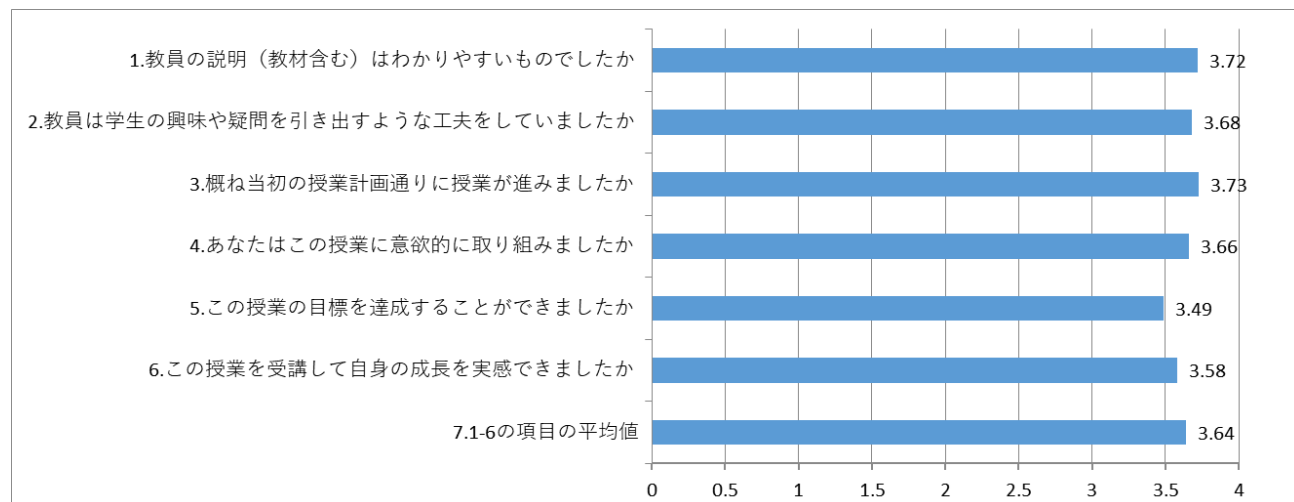
図2 看護学部における質問項目ごとの平均評定値



看護学部 FD 委員会のコメント

今回（2023 年度春semester）より質問項目が修正され、2 年周期で全科目評価を行うため春semesterにおける半分の科目の評価を行いました。そのため例年との単純比較は困難ですが、得点としてはおおむね微上昇の傾向でした。教員の教育に関する 1-3 項目においては、全項目 3.5 点以上で、授業進行については 3.66 と良好でした。学生の意欲的取り組みについての第 4 項目は 3.56 で、従来の関連項目（授業による意欲の高まり）より得点が向上しています。授業の目標達成についての第 5 項目は唯一 3.5 に達しませんでした。昨年度の関連項目より上昇し、第 6 項目：受講による自身の成長実感については 3.53 に達しています。この結果を教員間で共有し、修正項目による評価を積み重ね、教育に反映することで学生の目標達成、成長につなげられるように取り組んで参ります。

図3 社会福祉学部・国際教育学部における質問項目ごとの平均評定

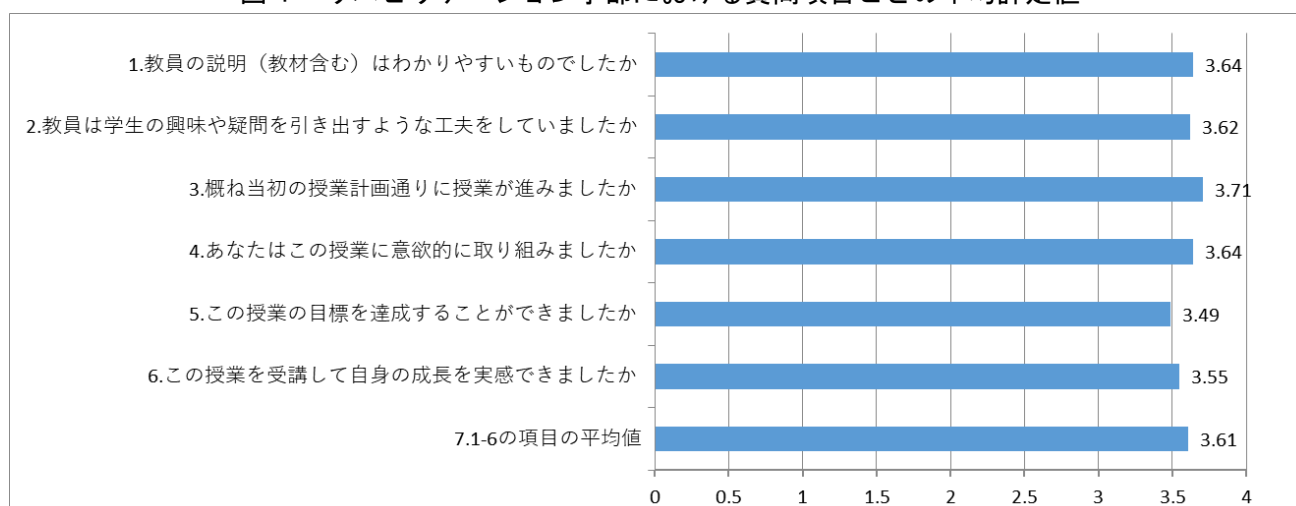


社会福祉学部・国際教育学部 FD 委員会のコメント

実施方法や質問項目などを新たに見直して実施した今回の授業評価でしたので、どのような結果となるか興味をもっておりました。回答率が前期までよりも改善した科目が多く、その点において非常によかったと思います。今後もまた回答率が向上していくように、学生 FD スタッフのみなさんとも協力して呼び掛けていきます。

得られた評価は、どの質問項目も概ね高いものでした。5 の「この授業の目標を達成することができましたか」は他の項目よりも低いものでしたが、これについては昨年度までの授業評価の質問 4「あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか」の評価点が他の項目より低かったことと共通しています。各科目の目標を折に触れて授業内で明示したり、それに照らして自己の学修を評価したりするなどの取り組みをして、目標を意識的に達成できるよう授業を改善していこうと思います。

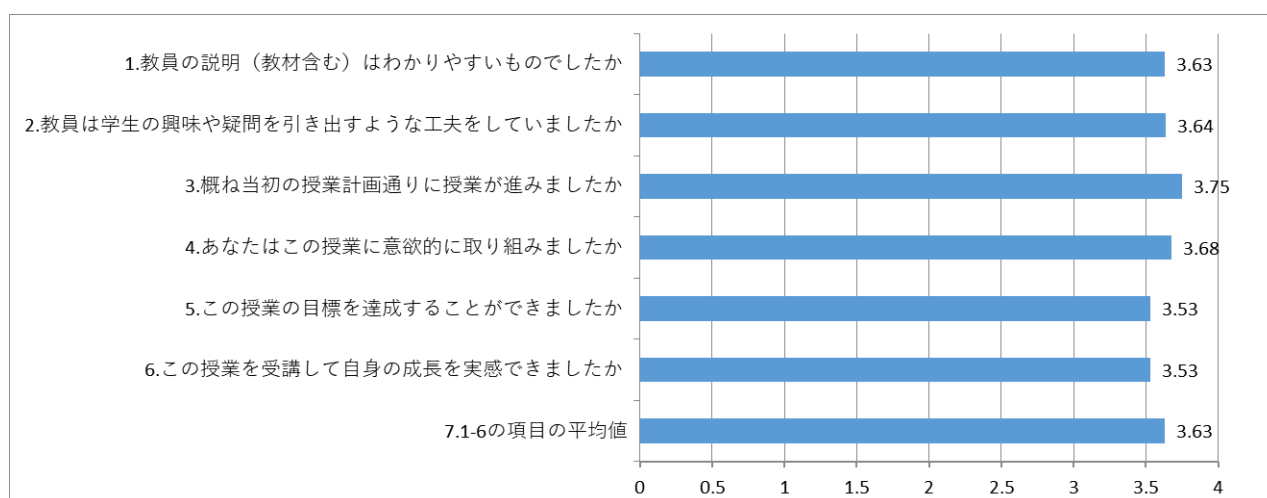
図4 リハビリテーション学部における質問項目ごとの平均評定値



リハビリテーション学部 FD 委員会のコメント

新しい授業評価方法となって初めての実施でしたが、昨年同様、得られた評価は全体的に高いものでした。特に、教材や授業の工夫によって、学生の皆さんの意欲を引き出すことができる授業内容を提供することができたのではないかと感じます。一方で、「授業の目標を達成することができましたか」という項目においては、昨年度と比較して0.14増加しましたが、例年同様、全体の中で低い値となりました。自身の成長の積み重ねの結果「目標達成」を実感できるよう、さらなる授業改善を図っていききたいと思います。

図5 教養・共通科目における質問項目ごとの平均評定値



教務部長のコメント

対象となったすべての教養・共通科目において授業評価が実施されました。23年度春セメの授業評価は新しい授業評価となりました。各質問項目の点数は3.5点（87.5%）以上であり、多くの担当教員は学生の主体的な学びにつながる授業を展開していたと考えています。今後も、授業評価を振り返り、さらなる授業改善につなげていきます。